

2013年8月7日

江戸川区教育委員会
委員長 松原秀成 様

すくすくスクールの子どもたちに補食についてアンケートを求める陳情

陳情者

7月26日の区教育委員会の定例会で、夏休み中の補食持参についての陳情第4号が不採択になりました。この会議で浅野教育長から「夏休みは時間が長いといっても学校があるときと変わらない。特別な配慮が必要かどうか」という旨の発言がありました。

補食の廃止が打ち出されてから、私たち保護者は親としての心配な気持ちとともに「補食がなくなるのは嫌だ」という子どもたちの思いを区に届けてきたつもりです。しかし、いま行われている議論はおとなだけの意見や考えであり、子どもの意見や考えが反映されていません。

時間だけを見れば、教育長がいうように学校があるときと変わりません。しかし、長期休みは通常の学校生活とは違います。子どもたちは特別な配慮を必要としているから、学童登録をしているのです。各家庭によって必要としている特別な配慮の度合いは違うでしょう。補食を必要としている子どもは少数かもしれませんが、そういう子どもたちの声に耳を傾けてほしいと思います。

以上の点を踏まえ、教育委員会の理念にあるように子どもの人権を尊重し、一人ひとりが安全な生活を送ることができるよう▽補食があったほうがいいのか、なくてもいいのか、どうしてそう思うのか▽夕方おなかがすいていないか▽補食を食べる子・食べない子に分けられていたと感じたことがあるか—などについて、すくすくスクールの主役である子どもたちにアンケートを実施してください。そのうえで、補食に関する議論が行われるようお願いします。

以上